

週替わりで一息!!

第2074第85版)

今回の二十四節気・七十二候 (にじゅうしせつきしちじゅうにこう)

啓蟄(けいちつ) 大地が暖まり土中で冬ごもりをしていた生き物たちが目覚め、穴から出てくる頃。歴便覧では「陽気地中にうごき、ちぢまる虫、穴をひらき出ればなり」と。生き物たちは久しぶりに感じるさわやかな風と、麗らかな春の光の中で生き生きとしています。<立春を過ぎて初めて起こる雷を「虫だしの雷」といい、これはそれまで土の中で冬眠していた虫たちへ春が来たことを知らせるもので、啓蟄とも重なる事から春に鳴る雷はその合図であるとされてきました。>

和暦コラム歴生活・びお・ウィキペディアより

末候「三月十五日～三月十九日」菜虫化蝶 (なむしちょうとなる) 9

「青虫が羽化(うか)して紋白蝶になる」厳しい冬を越したさなぎが羽化し、美しい蝶へと生まれ変わり、羽ばたく頃。菜虫とは、大根や蕪(かぶら)などの葉につく青虫のことをいいます。どこからともなく頭(あら)われる蝶の存在は東西を問わず、古くから靈魂の化身、再生の象徴とみなされていたようです。万葉集に蝶が詠まされなかったのは、蝶は死者の化身であり、この世のものではないものとして恐れられていたからだと考えられています。

20年前の主なニュース (1997年3月18日～1997年3月24日 福井新聞縮刷版より
・パワーセンター「ワッセ」オープン・一九八〇年代アメリカに生まれ急成長した。集客力があり、力を持つ店舗が個々に集まり”小売り団地”を形成する。各店舗は独立した状態にあり、規制に縛られず自由に営業が出来るのが特徴。北にピア南にベル東にパリオ西にワッセとアピタ

「本日3月10日の金曜日」《DYMOCO理論に基づく靴のフィッティング》「にしの整骨医長西野巧軌氏」



■歩行中に発生していると思われる様々な障害に対し、主に靴とDYMOCOインソールを用いて足下から歩行バランスを整え、悪いとされる動きを抑制し、問題点を根本から解決しようとする理念の事をDYMOCOと定義



三国・芦原・金津青年
会議所丸井久明様

公共イメージ委員会
ロータリーの友3月号

四つのテストは
前会長様です

長期戦略に関する
アンケートの提出

今日一枚はこの方
さてこれをどうする